

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

3

March
2025

山形県中小企業家同友会

月刊 同友

やまがた



青年部2月例会
(株)サニックス 代表取締役 佐藤 啓氏



よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす
中小企業経営者の全国組織

2024年度スローガン

自社の存在意義を問い直し、
地域と共に豊かな未来へ

社員ひとり一人が主役の企業づくり



1月24日、TISカンファレンスセンターにて委員会合同例会が開催されました。組織、経営指針、社員共育、共同求人等の4委員会が合同で主催し、22名が参加しました。

例会では、(株)パラマウント 代表取締役 粕川利史氏(宮城同友会共同求人委員長)より自社での実践をご報告いただきました。

もっと役に立つ仕事をしたい

粕川氏は元々父親のスポーツ用品店の会社を継ぐ予定でしたが、入社一年半でその会社は破産。社員に解雇通知を渡して謝りながら「もし自分が経営者になるのなら、社員が喜ぶ、もっと役に立つ仕事をしたい」と強く思いました。そして両親の持つ別法人の(株)パラマウントを29歳で承継し、不動産業で社員がゼロの状態から社員を雇用して、カラオケ店や蕎麦屋、パン屋と事業を広げます。

現在は同友会での学びを活かし、地域に人を残す活動としての採用と、業務だけでなく人間的な成長を大切にしたい教育に力を入れています。結果、社員が主体的に計画して行動するようになっていきました。各店舗で外部環境や店の分析をして予算と年度スケジュールを決め、実行しています。

事業をより多角化する

多角化経営で事業リスクを分散できていると考えていた粕川氏でしたが、コロナ禍で会社はピンチに陥ります。店が休業を余儀なくされるなかで、社員に給与の全額保証

と予定通りの昇給、そして、休業期間を準備期間とし、新しい挑戦をすることを約束します。それから粕川氏は自社を分析し、パンの卸売業に活路を見出します。それは既存の商品を今までの商圏の外に売り出す取り組みであり、コロナ後に予想される飲食業界の深刻な人手不足をチャンスとした戦略でもありました。手間をかけてつくった高級品質のパンとして社長自らが直接営業をかけた結果、全国のホテルやレストランで扱われることになり、元々のパン屋のブランド力も高まる相乗効果が生まれています。

まとめとして粕川氏は「20代で自分の生きる意味や目的に気付いたことが大きかった。目的を実現するための仲間をつくり、具体的な計画を共有することが、一人ひとりのやりがいや自主性の発揮につながる。そして、社員を引っ張っていくには、経営者自身が何十倍も行動し、結果を出す姿を見せることが大事ではないか」と語りました。

社員の自主性を発揮するために

その後、「社員の自主性を発揮するために何をしていますか？」をテーマにグループ討論を行い、社員への思いやかわり方について話し合いました。

最後に座長の佐藤啓氏(株)サニックス 代表取締役)が「社員が自主性を発揮するには、よい企業文化が必要。同友会は目指すべき企業像として『21世紀型中小企業』を提起している。地域によい会社が増え、あの企業があることが地域の誇りだ、と評判になれば、地域を変える力になっていく。ぜひ委員会活動に興味を持ち、よい企業を目指して自社経営に取り込んでほしい」とまとめ、閉会となりました。



若者が働きやすい企業づくりを進め、地域で若者を育て定着させよう！



2月7日、山形テルサを会場に「就職担当者との就職懇談会」が開催され、県内外の大学・短大・専門学校等から11名と、同友会の会員ならび採用担当者28名、学生3名の計42名が参加しました。

開会にあたり前盛副委員長が「企業の事例から考え方、見方、やり方を学び、大学生の体験から就活常識の変容を感じ取り、意見交換会で相互に交流を深める場としたい」と挨拶しました。

初めに、採用と教育について共同求人活動参加企業2社から実践報告がありました。



まず、機械器具販売・メンテナンスを営む㈱マルタニ 代表取締役長谷川吉之介氏から報告がありました。同社は、ここ数年の山形大学の低学年インターンシップと昨年度の「就職懇談会」を機に、社内で新卒採用プロジェクトを立ち上げて共同求人活動に参加するとともに、

求人票見直し、インターンプログラム更新、経営理念やビジョンの共有と点検を実施。結果として、若手中途社員3名と、23年ぶりの新卒1名が入社。新卒の社員教育は、面談でのフォローや、教育担当者の配置、チャットツールの活用、電話対応研修の徹底等に取り組む、確かな成長を実感しています。その間に健康経営優良法人を取得するなど、「誰もが働きたい会社」に向けた取り組みを推進。「人材育成ではなく、人間育成を重視していきたい」と締めくくりました。

続いて、同社の一般営業部 今田大翔氏が自身の体験を報告しました。今田氏は縁あって㈱マルタニを知り、志望と異なる業種でしたが説明を聞くうちに不安は払しょく、ワークライフバランスの良さも感じられたため入社しました。入社後はオフィス機器等のルート営業職として勤務。当初は営業職に過酷なイメージがありましたが、キャリアに応じた適切なノルマ設定、丁寧な引継ぎなどにより不安は解消。今後の課題の一つは新商品の提案力ですが、それも相談、同行してもらえる先輩社員の存在によって張り合いを感じられるといいます。営業以外でも、インターンシップの受け入れに関わり、社内の決起大会のレクリエーションを担当するなどといったことも、やりがいや成長につながっています。

そして、放課後等デイサービス事業を展開する㈱スエヒロ 代表取締役 平形洋司氏から報告がありました。㈱スエヒロでは同友会の「経営指針をつくる会」で作成した経営理念に基づき、近年「よい会社づくり」を強化。階層別、内容別の研修の充実や、福利厚



生の強化に取り組み、特に休日については労働時間を調整するなどして2年間で97日から118日まで増加。完全週休二日制を実現するなど労働環境改善を進めています。また、採用にあたってはオープンチャットを活用して、学生との出会いを交流にまでつなげ、採用活動の

みならずアルバイト募集等の場にもなっています。

その後、同社主任 奥山舞氏から体験報告がありました。社会福祉士養成課程で学んでいた奥山氏は、同社での実習で不安が解消されるとともにこの仕事の奥深さを感じられたこと、「ありがとう」の声掛けが多い社風に魅力を感じたこと、研修制度や相談しやすい環境で働く姿を想像しやすかったことなどが決め手になり入社。一年目には社内マナー研修の講師を担当。念入りな準備で臨み無事成功し「仕事は“準備業”」の学びがあったことや、各種研修のほか、将来を見据えて一年目から幹部会議に参加する機会が設けられたことは自身の仕事観を養う機会になりました。また、研修や昼礼での理念唱和などで、日々の行動を経営理念に照らし合わせることができるといいます。二年目には主任へ昇進し、子供たちだけでなくチームやスタッフのことも考えなければと、自分がかつて遠慮して苦労した「先輩への質問や確認」を自分の後輩ができるように気を配っています。

続いて、今回初めての企画として山形大学の3・4年生3名を招いてのパネルトークを開催。内定、内々定を得た学生から就職活動に関する現状や意識を伺いました。それぞれ志望業種や就活のスタイルは異なりましたが、「オンラインを含むインターンシップの積極参加」「Uターン希望者が地元で就職活動する負担の大きさ」「就職エージェントの利用状況」など、近年の就活生を取り巻く現状や課題について当事者の声を聞く機会となりました。



その後、各学校の参加者から就職支援の取り組み等について紹介があった後、グループ討論形式で意見交換会が行われ、学校と企業の立場から若者の採用と育成について意見交換しました。参加した学校からは「もっと地元の企業様との意見交換やインターンシップなど、関係性を深めたい」「学生と県内中小企業との接点が難しく、どうにかマッチングしたい」、企業側からは「3年生の6月から夏休みの時期の採用活動にも力を入れていきたい」「自社の働きやすさ、福利厚生を明確にしたい」「学生の話聞いたのが良かった」といった感想が寄せられ、若者が働きやすい企業づくりを進め、学校と企業が連携を深め企業の魅力を発信していくことの重要性を確認しました。

発祥の地「北海道」から切り拓く 共同求人と社員教育の未来

日時: **6月17・18日(火・水)** 開会:17日 13:00
閉会:18日 12:15

会場: (メイン) 北海道立道民活動センター (かでの2・7)

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル

(懇親会) ホテル ポールスター札幌

〒060-0004 札幌市中央区北4条西6丁目

会費: 20,000円 申込締切 2025年5月29日(木)

参加申込は同友会事務局へご連絡ください。

※締切翌日以降のキャンセルは会費を全額ご負担いただきます。ご了承ください。

※詳細はe.doyuをご覧ください。事務局にお問い合わせください。

2025年度 社員共育委員会主催 社員研修年間スケジュール

合同入社式・新入社員研修

日時 4月2日(水) 9:00~17:00

対象:2025年4月入社の新卒社員または入社1年未満の社員

会場 山形ビックウイング交流サロン

新入社員フォローアップ研修

日時 10月1日(水) 9:00~16:15

対象:新入社員研修受講者または入社1年未満の社員

会場 流通団地会館大会議室

若手社員研修

日時 9月17日(水) 9:00~17:00

対象:入社3~5年目の若手社員

会場 流通団地会館大会議室

幹部社員研修

対象:幹部社員または幹部候補

会場 流通団地会館大会議室

日時 **第1講** 7月16日(水) 13:30~16:30

第2講 8月20日(水) 13:30~16:30

第3講 11月19日(水) 13:30~16:30

※詳細等は正式な案内をお待ちください。

3月例会のご案内

山形支部

【青年部との合同例会】 事業定義を確立させ自社の存在意義を理解しよう

2025.3.14(金) 15:00~17:15

場所：遊学館第1研修室

山形市双葉町1-2-3 ☎023-646-6677

報告者：(株)ティスコ運輸 代表取締役 菅原茂秋氏

30歳で創業した菅原氏。当時は社員数名、トラック数台での船出。ここから現在の規模にまで事業を拡大してきましたが、最大のターニングポイントは2007年の指針受講でした。

事業定義を明確にした菅原氏は、様々な課題を解決発展させ順風満帆かと思ったそんなある時、社員との「想い、に大きな溝が生じているのに気づき問題が噴出します。そこで、社員全員と向き合い「共有、すべく奔走。その結果、新たな価値を創造することができたという。

10年、いやそれ以上先を見据え挑み続ける菅原氏の報告から、会員企業が抱える多くの「壁、ヒト、モノ、カネについて解決へのヒントを見いだしましょう。

寒河江支部

競争から共創へ ～地域の魅力をライバルと共に創る～

2025.3.21(金) 18:30~20:30

場所：寒河江市技術交流プラザ

寒河江市中央工業団地153-1 ☎0237-86-1991

報告者：(株)DMC天童温泉 鈴木誠人氏

天童温泉は、年々減少する宿泊者数に悩まされていました。個々の旅館の評価は、各口コミサイトを見るとあがっているが、それでもエリア全体の集客はなかなか伸びない。旅館同士でのお客さんの取り合いを続けていては、この現状を打破することができない。

「このままではいけない……」そう感じた天童温泉の旅館経営者たちは、地域全体の魅力を高めることが必要と考え、競争から共創にシフトチェンジ。旅行者が山形や天童温泉に来る目的を創出するために株式会社 DMC 天童温泉を立ち上げました。切磋琢磨するライバルではあるものの、地域を盛り上げる仲間として協力することで、それぞれの旅館の強みも強化しつつ、エリアの磨き上げも同時に行ってきました。同じ業界の事業者同士が協力しながら地域課題を解決し、そこから自社の発展につなげていく。そんな取り組みから、他の地域や業界でも活かせるヒントが見つかるかもしれません。

さくらんぼ支部

経営指針づくりを通して芽生えた社員への想い ～ビジョンを示し、一緒に会社をよくして、幸せになろう～

2025.3.28(金) 15:00~17:30

場所：まなびあテラス講座室A・B

東根市中央南1丁目7-3 ☎0237-53-0230

報告者：ピーアイエス(株) 代表取締役 庄司潤一氏

ピーアイエス(株)は、庄司氏のお父様が自動車関係の精密部品の検査・組立を担う製造業として創業。後継する条件として出されたのは「同じ仕事をしない」ことでした。庄司氏は入社と同時に、自動化装置設計・製作を行うFAシステム事業部を新たに立ち上げました。事業の立上げから60名を採用しますが、自身の働き方を強いるあまり退職者が続きました。二つの事業部の方向性を合わせるものがほしいと第29期経営指針をつくる会を受講する中で、「社員にビジョンをしめせていなかった」、そして「社員と一緒に会社をよくしていこう。皆が幸せにならないと会社がよくなるまい」と思い至ったといいます。

指針終了後に社内にも6つの委員会をつくり、社員一人一人が会社の一員という認識が生まれてきたと語る庄司氏の報告から、ビジョンを描く重要性について共に考える機会にしましょう。

置賜支部

一人よがりの経営からの脱却 ～情性で経営していませんか？～

2025.3.18(火) 18:00~20:00

場所：伝国の杜

山形県米沢市丸の内1丁目2-1 ☎0238-26-8001

報告者：(株)ヤリミズ自動車 代表取締役社長 鍾水伸一氏

米沢市で自動車の販売や整備を行う(株)ヤリミズ自動車。2005年に後継者として会社に戻った鍾水氏は、商品の見直しやフランチャイズへの加盟など、果敢に新たな挑戦をして、厳しかった業績を右肩上がりに回復させます。しかし、周りに相談せず、売上をあげればあげるほど、社員との距離は離れる一方でした。社内での孤立を感じる中で、2022年に経営指針をつくる会を受講。自社の存在意義やビジョンを改めて考え、社員と共有しました。指針作成から2年が経ち、少しずつ社員と一緒に歩んでいく体制がつけられ始めています。経営指針をつくり、会社を変えるためにまず自分自身を変革してきた鍾水氏の実践報告から、いかに自社の方向性を定め、それを周囲に共有するかを学びます。

庄内支部

覚悟を決めると動き出す ～思いを伝えてチームの力を最大化する方法～

2025.3.13(木) 13:00~15:30

場所：文化館なの花ホール 研修室&zoom

東田川郡三川町横山堤172-1 いろり火の里敷地内

報告者：合同会社ひろまるデザイン 代表 佐藤浩子氏

2023年同友会の知る会に参加、その場で入会と指針を作ることを決意。それまでは、夫である洋輔氏と幾度と無くぶつかり、思いとは裏腹に2人の考えにも温度差が…。

一緒に補講に参加しながら、経営指針を作っていく中、夫からの「行ってらっしゃい」の一言。思いが共有した瞬間、その一言で何かが変わり2人の経営指針が出来上がります。そこから思いのつまった会社が動き出し、街に新しい笑顔がひろまります。皆さんで思いを共有することの大切さを学びましょう。

新庄最上支部

2025.3.10(月) 18:30~21:00

場所：新庄市民プラザ

新庄市大手町1-60 ☎0233-22-4200

報告者：(株)京野工芸 代表取締役 京野和也氏

詳細は追ってご案内いたします。

第10回理事会報告

◆日時:2025年2月13日(木)午後3時00分~午後4時50分 ◆会場:TISカンファレンスルーム ◆議長:阿部副代表理事
◆出席者:(敬称略)川合、菅原、後藤(智)、阿部、小川、伊藤(誠)、笹林、志田、後藤(康)、高橋、飯野、中川、菊地、武内、小寺、庄司、長谷川、東海林、井田、小野、本多、鎌水、平形、佐藤、玉津、事務局矢作、芳賀、青木、上遠野

■開会挨拶

川合代表理事より「最近、同友会の活動が盛り上がっていると感じる。会員の皆さんの同友会理念の実践が広がっていることを嬉しく思う。今年度のまとめや次年度に向けた議題があるので、我々の活動が地域にとってより意味のあるものになるよう、忌憚なきご意見をいただければと思う」と挨拶がありました。

■報告事項

- 1) 中同協第3回幹事会報告 1/10~11(東京)3名参加
後藤代表理事より、広浜会長からの挨拶の後、新春講演として獨協大学経済学部 本田浩邦教授より「第2次トランプ政権の発足とアメリカ経済・社会」と題して講演があり、危機感を覚える内容だったことと、グループ討論では各同友会の現状や課題について話し合ったことが報告されました。
- 2) 北海道・東北ブロック代表者会議 1/11(東京)3名参加
後藤代表理事より、来年度は北海道・東北での行事が多く参加しづらいという意見もあり、2025年度の北海道・東北ブロック支部長地区会長交流会を休止し、山形で行われる2026年度の同協役員研修会に振り替えることになったことと、閉会挨拶で山形の経営姿勢確立セミナーについての話が注目度の高さを感じたことが報告されました。
- 3) 2024年度第2回中同協・経営労働委員会 1/16~17(東京)3名参加
小川副代表理事より、一日目は経営労働問題全国交流会、人を生かす経営全国交流会の振り返りなどの後、中同協総会議案の骨子について話し合い、二日目は黒瀬先生より「中小企業に見る『未来社会』の芽と同友会活動」と題しての講演と報告があり、最後に山田経営労働委員長が、「人間尊重の経営を実践する企業を増やすことが委員会の役割であり、経営指針の成文化と実践の先にある確立をしていかななくてはならない。多くの仲間と学べる環境を量と質の両面でつくらなくてはならない」と述べ、増強できる委員会についても言及があったと報告がありました。
- 4) 第55回中小企業問題全国研究集会 2/6~7(愛媛)4名参加
志田理事より、第1分科会では持続可能な地域社会と中小企業の役割というテーマでグループ討論を行い、地域に根差し経営がきちんと成立し、社員ひとり一人がやりがいや生きがいを持てる企業であること、ひとりの人間として相手を尊重し人としての在り方、会社の在り方を考え、国への提言をし、振興条例を活用して地域の中小企業を守り雇用を守ることが大切であり、また平和について私たちが会員ひとり一人が考えていかなければならず、もっと学ぶべきだと報告がありました。
- 5) 2025新春交流会
武内理事が、参加目標200名に対して222名の参加人数となったことを報告した後、「参加目標を達成していただいた支部の皆さんは本当にありがとうございます。冬の時期で、初めての天童開催ということで呼びかけのハードルは高かったと思うが、ご協力いただけ良かった」と御礼を述べました。
- 6) 2024年度1月月次報告
矢作事務局長より報告がありました。
- 7) 2024年度1月月次決算報告
矢作事務局長より報告がありました。

■承認事項(入・退会承認) 4名入会 4名退会 493名

■討議事項

議題1:やまがた願い夜市in歌懸2025の件

村山地区お祭り商業協議会の佐藤事務局長より業務委託契約書について責任の所在も含めた説明があった後、伊藤(誠)理事より補足提案があり、山形支部主催で行われることが承認されました。

議題2:目標達成に向けての取り組みについて

1)組織委員会の報告

菅原代表理事より次年度の委員会体制、HPの更新では動画などのコンテンツの充実も考えていくこと、同友会を知る会は2月28日、3月11日に全県で、3月7日に鶴岡で開催される予定となっていること、委員会

同例会のまとめを行ったことが報告されました。

2)目標達成に向けての具体的取り組みについて

菅原代表理事より各支部の目標達成に向けての動向が報告された後、今年度の最後の入会承認を3月28日に行うことが提案され、承認されました。

議題3:2025年度役員(案)について

川合代表理事より2025年度の常任理事案、役員選考委員会に推薦する2025年度理事案についての説明があり確認しました。2025年度役員選考委員は、下記のとおり承認されました。

佐藤 啓 後藤 康晴 穂積 勇人 齋藤 和彦 庄司 薫
林比呂子 三原 辰博

議題4:第41回定時総会議案について

1)2025年度活動のまとめ(案)

後藤代表理事より提案があり、継続審議することになりました。

2)中小企業をめぐる情勢

菅原代表理事より説明がありました。

3)2025年度方針骨子(案)

菅原代表理事より提案があり、継続審議することになりました。

4)特別会計の一般会計へ組み入れについて

川合代表理事より特別会計を一般会計へ組み入れることが提案され、承認されました。

議題5:第41回定時総会について

実行委員長の志田理事より実行委員会体制、開催目的が提案され、承認されました。また、1月31日に記念講演の講師となる(株)吉村 橋本久美子社長へ挨拶と打ち合わせを兼ねて訪問したことを報告し、「実際に会社を見て、社員の意見から商品化していることなどから、非常にわくわくする会社だと感じた。ぜひ多くの学びを得られるようにしていきたい」と語りました。

議題6:委員会・部会より

1)社員共育委員会より

庄司理事が、4月2日に山形ビッグウイングを会場に開かれる「合同入社式・新入社員研修」について案内し、参加呼びかけをしました。

■その他

1)今後の予定について

- ・2月13日(火)2024年度第2回中同協・共同求人委員会(東京)
 - ・2月18日(火)第1期中小企業家同友会事務局アカデミー(東京)
 - ・2月18日(火)DX学習会(株メコム)13:30~
 - ・2月26日(水)経営姿勢確立セミナー第4講(TISカンファレンスセンター)15:00~
 - ・2月27日(木)2024年度第2回中同協・社員教育委員会(東京)
 - ・3月4日(火)2024年度第2回中同協女性部連絡会(Zoom)
 - ・3月17日(月)国の中小企業支援制度の学習会(TISカンファレンスセンター)15:00~
 - ・3月18日(火)中同協第4回幹事会(Zoom)13:00~
 - ・3月24日(月)経営姿勢確立セミナー発表会(TISカンファレンスセンター)15:00~
 - ・4月2日(水)2025年度合同入社式・新入社員研修(山形ビッグウイング)
 - ・4月21日(月)第41回定時総会
- #### 2)今後の常任理事会と理事会日程について

第11回常任理事会	3月5日(水)16:00	第11回理事会	3月12日(水)15:00
第12回常任理事会	4月2日(水)16:00	第12回理事会	4月9日(水)15:00

■閉会挨拶

小川副代表理事より「先週の大雪の時に月山道が真っ白で、どこに道があるのかわからない状態だったが庄内に行ってきた。大雪で地域によって様々な弊害があると思うが、もう少しで桜が咲く季節になる。ぜひ517社をめざして、年度末へ進んでいきたいと思う。ぜひ積極的に皆さんで力を合わせていきましょう」と挨拶がありました。

新会員紹介

はすみ せいご
◆ 羽角 誠吾氏
(株)JOGs 代表取締役
広告代理・イベント業務
山形支部

かなむら あつし
◆ 金村 敦氏
(株)JOGs 専務取締役
広告代理・イベント業務
山形支部

くどう けんいち
◆ 工藤 健一氏
(株)工藤ヤ 代表取締役
造園業
山形支部

かとう じゅいち
◆ 加藤 寿一氏
(有)加藤建板 代表取締役
建築板金業
置賜支部

会員変更

●西塔社会保険労務士事務所 代表 西塔秀幸氏 ⇒ ランチェスター経営山形(山形支部)

同友やまがた3月号 (2025年3月1日発行/通巻384号)



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2161 山形県山形市大字漆山字大段1865-5 TISビルディング201
TEL (023) 615-8302 FAX (023) 615-8304
URL:https://yamagata.doyu.jp/ E-mail:info@yamagata-doyu.jp